



やました よしまさ
富山森林組合 参事 山下 芳正さん

今回ご紹介する方は、富山森林組合参事の山下芳正さんです。

山下さんは、富山県森林組合連合会に37年間勤められたのち婦負森林組合（現富山森林組合）の参事に就任され、組合内の業務を総括する立場で働いておられます。

富山森林組合では、「待遇改善」（働きやすい職場環境・担い手確保）「名称変更」（富山の森林を県内外にアピール）「事務所移転」（組合員が訪れやすい事務所）の3つの改革に取組み、森林整備事業を中心に、木材販売等の促進による経営基盤の強化を図り、森林所有者からの期待に継続して応えられる森林組合となるよう足谷組合長さんと共に目指しておられます。

その成果として、令和6年4月1日から月給制、週休二日制を導入するとともに、令和7年3月1日に「富山森林組合」に名称を変更されました。これまでの2つの改革はもちろん、最後の改革である「事務所移転」について、富山県森林組合連合会で培った経験を活かし、様々な方々と連携して今後進めていきたいとのことでした。



東京での就職フェアにて
富山森林組合を紹介する山下さん



1 富山森林組合について

山下さんは富山森林組合に参事としての職務に就いた当初、打合せ会議の中で驚いたことがあったそうです。一方的な事務報告で終わりかと思っていた山下さんでしたが、職員の方から『今の現場が終わったら、次はどの現場に行けばよいのか』『機械の調子が悪いので、直してほしいが、部品を購入してくれれば、直しておく』など建設的な意見が多く、職員一人一人がこの組合を良くしていこうという気持ちを強く感じ、感動したそうです。

また、高齢化や担い手不足に常々不安を感じ、何

とかしななければならないという職員の気持ちを汲み、山下さんが以前からお付き合いのあった、学校に問い合わせ四名もの新規採用者を迎え入れることができたそうです。職場内が若返り、活気が生まれ、先輩職員もやる気が出て、組合全体の雰囲気良くなるという好循環が生まれているとのことでした。

2 仕事上のモットー

山下さんは仕事をする上で、職場の風通しの良さを大事にしておられます。そのため、年末に職員全員と個別面談を行い、日頃の不満があれば聞き入れ、できることは改善するよう努めておられます。「何も言ってくれないことが一番良くないこと。対応が難しい意見もあるが、少しでもその意見を無駄にせず職場環境を改善していくことが、職員全員のやりがいにつながっていくと思う」と話しておられました。

職員の方から「山下参事は話しやすく、若い職員の意見にも耳を傾け、対応策を考えてくれる」とお聞きし、山下さんの人柄の良さが伺えました。

3 富山森林組合の今後を思う

『誰もが憧れる森林組合になる』ことを目指し、山下さんは日々職場環境の改善に取り組んでおられます。「富山は山に囲まれた自然環境が豊かなところ。その富山の森や自然環境をより良くしているのが森林組合なのだと、森林組合で働いている職員の皆さんが誇りに思ってくれる、自慢できる、周囲の人たちからも尊敬していただける、そういう雰囲気を作っていくのも参事としての自分の役割だと思っています」と明るい表情で話しておられる姿がとても印象的でした。

足谷組合長さんをはじめ、山下さん並びに富山森林組合の今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。



小学生に林業の重要性について
授業する山下さん



Instagram



HP

文責 富山農林振興センター森林整備課林政・普及班